

不動岡高校の活性化・特色化方針

(令和3年度～)

1 学校基本情報

課程	全日制	学科	普通科・外国語科			生徒数	(男)458 (女)620	計	1,078		
ホームページ	http://www.fudooka-h.spec.ed.jp/										
アクセス	東武伊勢崎線加須駅北口下車徒歩 20 分、朝日バス「加須駅北口」より 5 分「不動岡高校前」下車徒歩 2 分、朝日バス「鴻巣駅東口」より 45 分「不動岡高校前」下車徒歩 2 分										
教育課程等の特徴	進学重視型単位制により、個々の進路実現を果たすため数多くの選択科目から必要な演習科目等を選択します。土曜授業を隔週で行い、学習時間の充実を図ります。『思考力・判断力・表現力』を身に付けた品格あるリーダーの育成に取り組みます。										
活躍が顕著な部活動	全国出場：陸上部（H16 より 16 年連続）、新聞部（H17 より 15 年連続） 放送部（R1）、水泳部（H29、H28）、箏曲部（H29）、SSC 物理班（H28） 関東出場：吹奏楽部（R1、H29）、音楽部（R1）、水泳部（H30）、山岳部（H29）										
特色ある学校行事	海外修学旅行（台湾）、学校祭での市中パレード、徒歩ラリー、こいのぼりマラソン大会へ全校参加、校内英語スピーチコンテスト、SSH 関係事業（生徒研究発表会、海外研修、国内フィールドワーク、課題研究、外部講師による講演や演習など）										
家庭・地域との連携	加須市役所や行政機関、地域の飲食店と連携したフィールドワーク（課題研究）、加須市挨拶運動への生徒参加、地域施設などからの招待による演奏会（音楽部、吹奏楽部、箏曲部等）、不動岡市民大学（市民開放講座）の運営、ふれあい体験（地元幼稚園等）、加須警察署との連携による「無事カエル」の配布										
進路	状況	四大	319 人	短大	0 人	専門	3 人	就職	0 人	その他	41 人
	傾向	国公立大学合格者は 113 名。関東圏以外の国公立大学合格者も増えている。また、SSH や課題研究の成果を活用した推薦入試や A0 入試合格者も増えている。難関私立大学競争激化の中ではあるが、GMARCH 合格者は増加している。粘り強く最後まで努力し続ける生徒が多い。									

(生徒数：R2.5.1 現在、進路は R2.3 月卒業生の実績値)

2 入学者選抜情報

<p>< 本校が求める生徒 > 様々な学習活動に取り組む意欲の高い生徒</p>
<p>< 詳しい入学者選抜基準はこちら > (「埼玉県公立高等学校入学者選抜における各高等学校の選抜基準」が別ウインドウで開きます)</p>

育成方針

県立不動岡高校

品格あるリーダーの育成



コバトン & さいたまっち

進学重視型単位制 (進路実現に向けた多様な科目選択)

海外修学旅行 (台湾)

体育祭

文化祭

芸術鑑賞会

こいのぼりマラソン

徒歩ラリー

『正解のない問題ばかりの、先行き不透明な時代』に対応

資質(思考力・判断力・表現力・主体性・協働性)を持ったリーダーを育成

様々な学習活動に取組む意欲の高い生徒

部活動

科学的素養

生徒の「科学的素養」の向上を目指します。

【全生徒対象】
5分野全ての課題研究への取組(数学、物理、情報、衣食住、健康・スポーツ)

【希望者対象】
発展的な課題研究
・SS課題研究
・海外研修
(SS課題研究履修者)
アメリカ研修
科学に親しむ
・実験実習講座
・野外実習
・サイエンスツアー
【スーパーサイエンスクラブ(SSC)】
・より深い探究活動
・地域への科学普及活動

普通科

高校までに学習する内容を学び終え、系列に分かれて受験に対応できる応用力を育成します。

外国語科

2年生

普通科

共通科目と進路実現に向けた選択科目を履修し、文系・理系・語学系に対応できる学力を広く身に付けます。

外国語科

1年生

普通科

生徒全員が共通の科目を履修して、様々な進路希望に対応できる基礎学力を身に付けます(外国語科からの理系進学は推奨しません)。

外国語科

国際性

世界を舞台に活躍できる人材を育てます。

【全生徒対象】
・課題研究(総合的な探究の時間)
・英語プレゼン学習
【外国語科対象】
・異文化理解(フィールドワーク)
・海外研修(希望者)
フランス研修
【希望者対象】
・海外研修
オーストラリア研修
マレーシア研修
ドイツ研修
・エンパワーメントプログラム
【スーパーグローバルクラブ(SGC)】
・課題研究
・各種コンテストへ出場

進路講演会

二者・三者面談

様々な課外活動

スピーチ・コンテスト

スポーツ大会

Fプランの探究活動

騎西特別支援学校の活性化・特色化方針

(令和3年度～)

1 学校基本情報

種別	知的障害	学部・学科	小学部・中学部・高等部	児童・生徒数	(男)156名 (女)46名	計202名
ホームページ	https://kisai-sh.spec.ed.jp/					
アクセス	<ul style="list-style-type: none"> ・ JR高崎線 鴻巣駅下車 朝日バス 加須駅行き 「環境科学国際センター前」下車 徒歩2分 ・ 東武伊勢崎線 加須駅下車 朝日バス 鴻巣駅行き 「環境科学国際センター前」下車 徒歩2分 					
教育課程等の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・ 個に応じた支援の充実 本校では、児童生徒一人一人の障害の特性や実態に応じて、個別の教育支援を行っています。教育支援プランA・Bの他に、アセスメントツールによる実態把握等を行い情報共有し、小中高で連続性を持った支援を行っています。 ・ 高等部複数教育課程 基礎教育課程、総合教育課程、応用教育課程の3つがあります。基本的な生活習慣の確立を目指すことから企業就労を目標にした教育課程があります。 					
特色ある学校行事や部活動	<ul style="list-style-type: none"> ・ 運動会は1学期に実施しています。徒競走、各学部の演技や競技、応援合戦などをおして、児童生徒が一丸となって頑張ります。 ・ 文化祭は2学期に実施しています。ステージでの演劇発表、中学部・高等部は作業学習で作成した製品の頒布も行っていきます。ステージ発表はどの学部学年も圧巻の一言です。 ・ 校外宿泊学習では、それぞれの学部・学年で宿泊学習を実施しています。集団生活のルールや社会性を身に付けます。 小学部：校外宿泊学習(4,5年生：吉見方面)：修学旅行(6年生：栃木方面) 中学部：校外宿泊学習(2年生：長瀬方面)：修学旅行(3年生：千葉方面) 高等部：校外宿泊学習(2年生：赤城方面)：修学旅行(3年生：東北方面) ・ 社会体験学習では、社会性を身に付けるため様々な社会体験学習を実施しています。 小中学部：工場見学、ショッピングモール 高等部：防災学習センター(防災意識を高める学習) プリランテ武蔵野(テーブルマナー講座) ・ 部活動では、高等部の生徒たちがバスケットボール大会やサッカー大会に向かって週3日間練習を行っています。 					
家庭・地域との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保護者の方向けに保健や進路に関する研修会を実施しています。 ・ 各学部で地域の方と交流行事を行っています。 (小学部 芋ほり、中学部 餅つき、高等部 うどん作り、太鼓) ・ 年に2回種足地区区長との懇談会を実施しています。 ・ 国際交流では、中学部・高等部が県立不動岡高等学校ALTとの交流をしています。 ・ 交流及び共同学習では地元小中学校・高等学校との交流会を行い、ノーマライゼーション教育を推進しています。 小学部 種足小 中学部 騎西中 高等部 鴻巣女子高等学校 ・ 支援籍学習では障害のある児童生徒と障害のない児童生徒が共に学び、地域との関係を深めるとともに特別な教育的支援を要する児童生徒一人一人にきめ細かな教育実現を図ります。 					
進路について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 卒業後の進路状況(R元年度)通所施設19人、入所施設1人、就職7人、在宅1名 ・ 進路学習は高等部3年生と語る会、社会人の先輩と語る会、就労支援アドバイザーを招いての学習会を実施しています。産業現場等における実習では、卒業後の進路を決めるうえで重要な学習です。本校では1年から3年まで、段階的に就労に向けた支援を行っています。 1年：校内実習 現場実習の前段階として、校内で実習を行います。企業や作業所から組立や箱詰めなどの軽作業を頂き、実習を行っています。 2・3年：現場実習 企業や作業所・通所施設に1、2週間程度行き、実際に実習を行います。卒業後の進路を決めるうえで一番重要な進路学習です。 					

(児童生徒数：R2.5.1現在、進路はR2.3卒業生の実績)



- 重点目標**
- 1 発達段階や教育的ニーズに応じた専門性の高い授業を展開し、自立活動や体験活動を通して児童生徒一人一人の可能性を伸ばす教育を推進する。
 - 2 小・中・高の連続性のある進路指導体制を構築し、児童生徒の自立と社会参加に向けたキャリア教育を推進する。
 - 3 危機管理の意識を高め、緊急時に備えた安心安全な学校づくりを推進する。
 - 4 外部機関との連携を深め、本校の教育資源を地域に資するなどセンター的機能の充実を図り、地域と協働する学校づくりに取り組む。

〒347-0115 埼玉県加須市上種足888
TEL:0480(73)3510 FAX:0480(70)1005

教育活動 本校は知的障害のある児童生徒に対し教育を行う学校で、小学部・中学部・高等部が設置されています。四市(加須市(旧加須市、旧騎西町)・北本市・久喜市(旧菖蒲町)・鴻巣市の一部)の学区からスクールバス等で通学しています。

学校行事
運動会:1学期に実施しています。徒競走、各学部の演技や競技、応援合戦などをとおして、児童生徒が一丸となって頑張ります。
文化祭:2学期に実施しています。ステージでの演劇発表の他、中学部・高等部は作業学習で作成した製品の頒布も行っています。

社会体験学習
社会性を身に付けるため、様々な社会体験学習を実施しています。
小中学部:工場見学、ショッピングモール
高等部:防災学習センター
テーブルマナー学習



高等部卒業までに身につける5つの力
・あいさつ、返事・コミュニケーション・身だしなみ・健康、体力・安全

卒業後3年をめどに年に2回巡回指導を行っています。

校外宿泊学習それぞれの学部・学年で宿泊学習を実施しています。集団生活のルール、社会性を身に付けます。
小学部:校外宿泊学習(4,5年生:吉見方面):修学旅行(6年生:栃木方面)
中学部:校外宿泊学習(2年生:長瀬方面):修学旅行(3年生:千葉方面)
高等部:校外宿泊学習(2年生:赤城方面):修学旅行(3年生:東北方面)

～個に応じた支援の充実～
本校では、児童生徒一人一人の障害の特性や実態に応じて、個別的教育支援を行っています。教育支援プランABの他に、アセスメントツールによる実態把握を行い情報を共有し、小中高で連続性を持った支援を行っています。また、個別に対応が必要なケースにおいては、校内支援委員会、ケース会議等、迅速かつ適切な対応を図っています。

進路学習
就労支援アドバイザー学習会
社会人の先輩と語る会
3年生と語る会

進路実現
社会的自立・社会参加
一般企業・通所施設・入所施設

～本校のセンター的機能～
・学区小・中学校の教員への支援
・特別支援教育の理解・啓発への研修会などの企画、立案等
・ボランティアの育成および啓発活動

中学部
・健康で安全な生活を営む力を育てる。
・日常生活に必要な力を広げ、自ら行う力を育てる。
・意欲的に学習し、生活にいかす力を育てる。
・気持ちや要求を表現する力を育てる。
・経験を豊かにし、コミュニケーション能力を育てる。
・自分の役割を知り、社会生活に必要な力を育てる。



高等部
・健康に生活する態度を身につけ、明るく前向きに生きる力を育てる。
・基本的生活習慣を確立させ、様々な環境に適應する力を育てる。
・自ら学び、学んだことを社会生活にいかす力を育てる。
・感じる力を豊かにすると共に、自分の考えを人に伝える力を育てる。
・思いやりをもって人とかかわり、社会の中で自己をいかす力を育てる。
・働くことの意味と喜びを知り、他者の協働、協力して仕事をする力を育てる。

高等部複数教育課程(1年時は基礎と総合の2課程、2年時から3課程の選択制)
基礎教育課程 総合教育課程 応用教育課程

国際交流
中学部・高等部 県立不動岡高等学校ALTとの交流会

地域交流
小学部 芋ほり
中学部 餅つき
高等部 うどん・太鼓



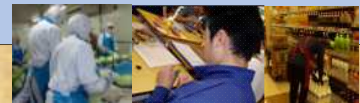
小学部
・楽しく身体を動かすことを通して、基本的な身体の動きを高めるとともに、丈夫な身体を育てる。
・身の回りのことを自分でやろうとする力を伸ばす。
・遊びや様々な経験を通して、興味関心を広げていく。
・相手からの働きかけに応じる力を適切な方法で伝える力を伸ばす。
・活動の見通しを持ち、意欲的に学習する力を育てる。
・人とのかかわりを豊かにし、大人や友だちとともに活動する力を育てる。



ノーマライゼーション教育の推進
交流及び共同学習
地元小中学校・高等学校との交流会を行いノーマライゼーション教育を推進しています。
小学部 種足小 中学部 騎西中 高等部 鴻巣女子高等学校

～本校の児童生徒の教育方針～
以下の学習内容を基に、児童生徒の年齢や発達段階に応じた内容を精選して指導をしています。
教科別の指導:国語、算数(数学)、音楽、図画工作(美術)、体育(保健体育)、家庭、職業
教科等を合わせた指導:日常生活の指導、遊びの指導、生活単元学習、作業学習
その他の指導:道徳、特別活動、自立活動、総合的な学習(探究)の時間

～高等部現場実習～
現場実習は、卒業後の進路を決めるうえで重要な学習です。本校では1年から3年まで、段階的に就労に向けた支援を行っています。
1年:校内実習 現場実習の前段階として、校内で実習を行います。企業や作業所から組立や箱詰めなどの軽作業を頂き、実習を行っています。
2・3年:現場実習 企業や作業所・通所施設に1週間程度行き、実際に実習を行います。卒業後の進路を決めるうえで一番重要な進路学習です。



支援籍学習
障害のある児童生徒と障害のない児童生徒が共に学び、地域との関係を深めると共に、特別な教育的支援を要する児童生徒一人一人にきめ細かな教育実現を図ります。

保護者・地域との連携・保護者の方向けに保健や進路に関する研修会を実施しています。・地域の協力を得て芋ほりを実施しています。・年に2回種足地区区長との懇談会を実施しています。